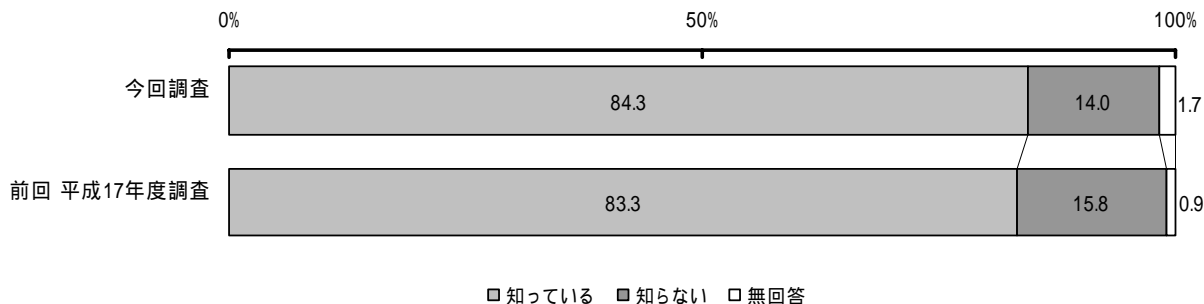


## 市町村で指定された避難場所

大規模地震などに備えて、市町村ではあらかじめ屋外避難場所を指定しています。あなたは、指定された避難場所を知っていますか？

市町村で指定された避難場所を「知らない」人が14%います。

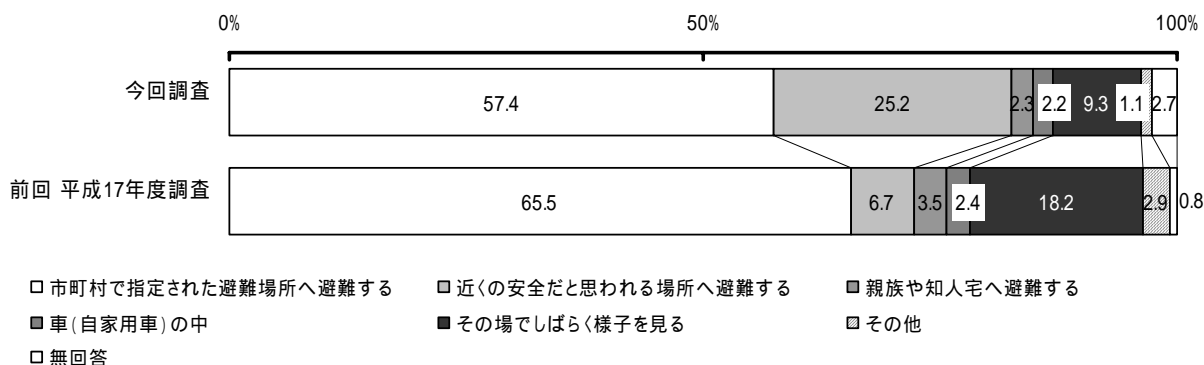


地震に備え、  
**避難場所を確認しておきましょう！**

## (自宅から)避難する予定の場所

あなたやあなたのご家族が自宅にいるとき、もし大規模地震が発生して自宅が危険な状態になったら、どのような場所に避難される予定ですか？

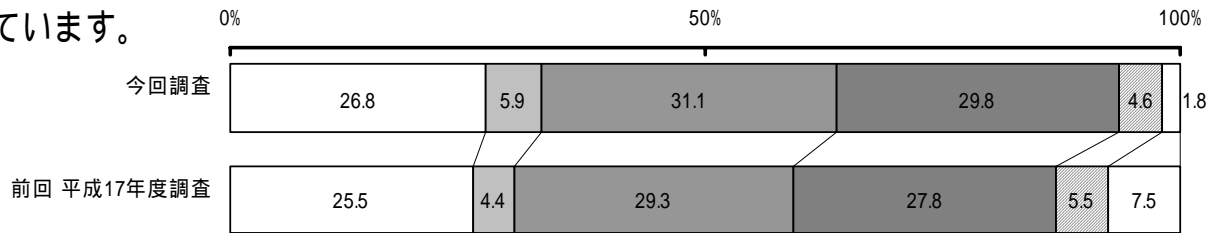
6割近くの方が「市町村で指定された避難場所」への避難を予定しています。



# 普段の近所づきあい

大規模災害の際の対応には、地域住民どうしの助け合いが重要であるといわれています。あなたは、普段近所とのおつきあいをどの程度していますか？

約3割の人が、「困った時に助け合える」または「互いに訪問しあう」つきあいをしています。



困ったときに助け合える
  互いに訪問しあう
  立ち話くらいはする
  あいさつくらいはする
  ほとんどつきあがない
  無回答

大規模災害の際の迅速で的確な対応には、**地域のつながり**が重要であるといわれています。

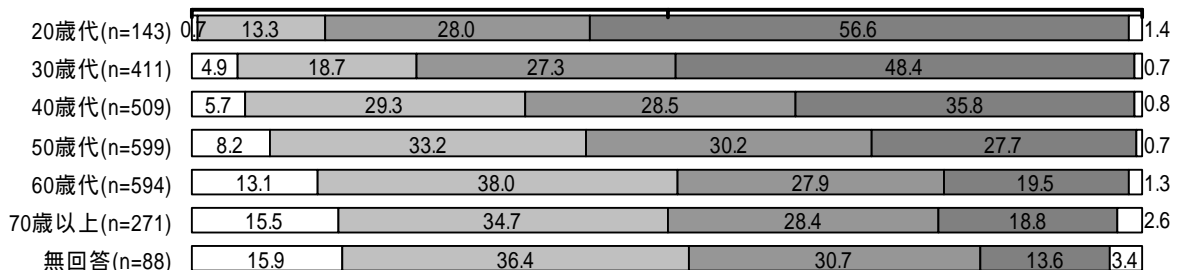
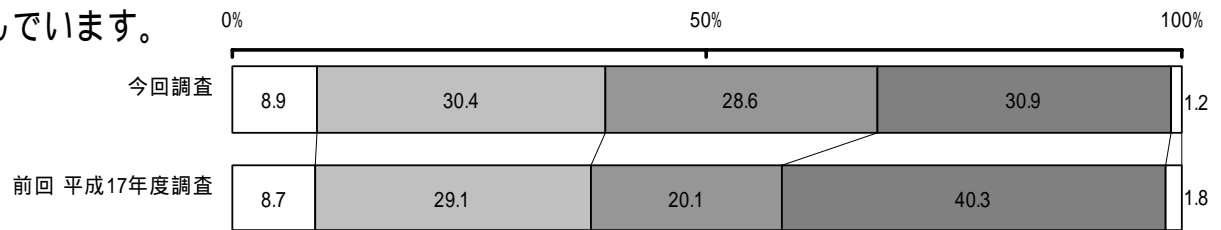
“自分たちの地域は自分たちで守る”という連帯意識を育てて、大規模地震の被害を最小限に抑えましょう。



# 地域の自主防災活動への参加経験

町内会や自治会、自主防災組織(消防団を除く)などにおいても、住民の自主的な防災訓練や防災活動(防災機材の点検、防災知識の普及など)が行われています。あなたは、こうした自主防災活動に参加したことがありますか？

約4割の人が「参加したことがある」と答え、自主防災活動の認知度は7割近くに及んでいます。

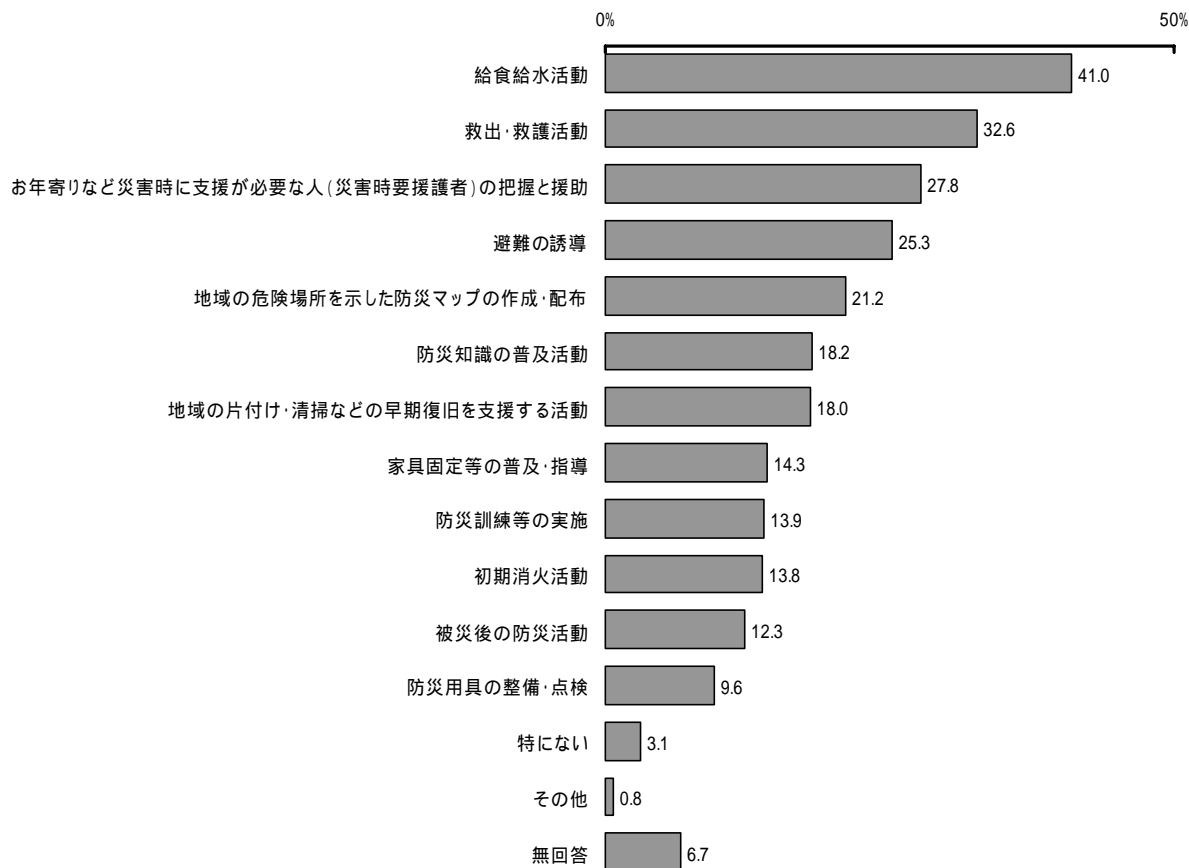


いつも参加している
  時々参加したことがある
  自主防災活動が行われていることは知っているが、参加したことはない
  自主防災組織がない(あるかどうかわからない)ので、参加したことはない
  無回答

## 地域の自主防災活動への期待

自主防災組織(消防団を除く)の活動として、どのような内容の活動を期待しますか？ ( は3つまで)

約4割の人が「給食給水活動」を期待しています。



町内会や自治会、自主防災組織(消防団を除く)などにおいては、  
住民の自主的な防災訓練や  
その他の防災活動(防災機材の点検、防災知識の普及など)が  
行われています。

災害発生時には、  
地域の住民の方々による救助活動などが必要となります。  
身近な自主防災活動に積極的にご参加ください。



**(防災豆知識)**

愛知県のほとんどの地域には、**自主防災組織**があり、地震等の大規模災害時に、地域で助け合うための活動をしています。

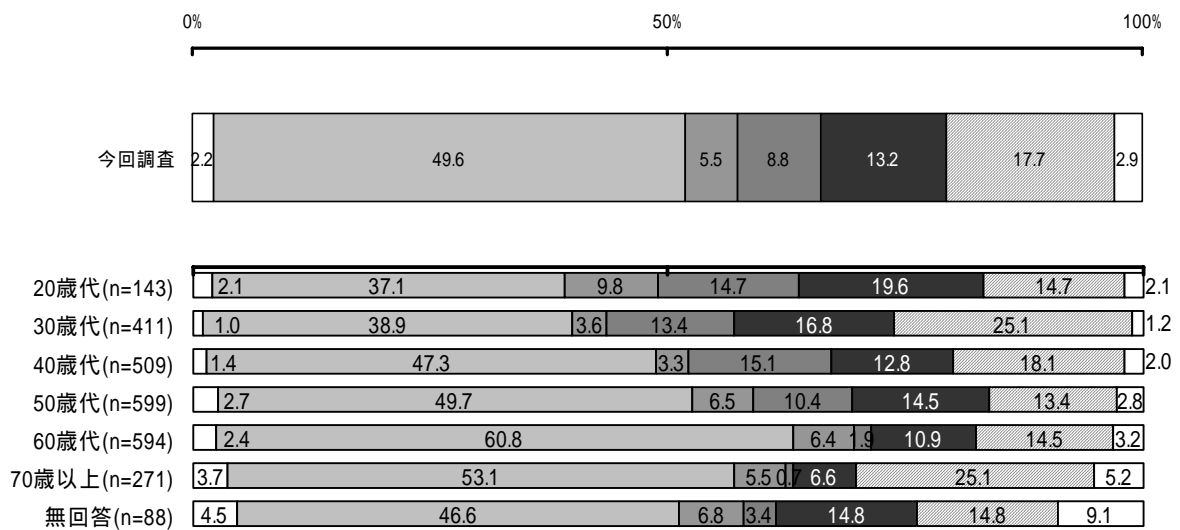
皆さんも、地域の**自主防災組織**の活動に参加していただいて、大災害に備えてください。



## 被災地でのボランティア活動への参加意向

災害が発生すると、被災地では救援・医療活動や復旧活動、物資の搬送や情報伝達といった様々な支援が必要となってきます。あなたは災害が発生したとき、このような自分の地域以外の活動にボランティアとして参加したいと思いますか？

約8割の人が、何らかの形で「参加したい」と思っています。

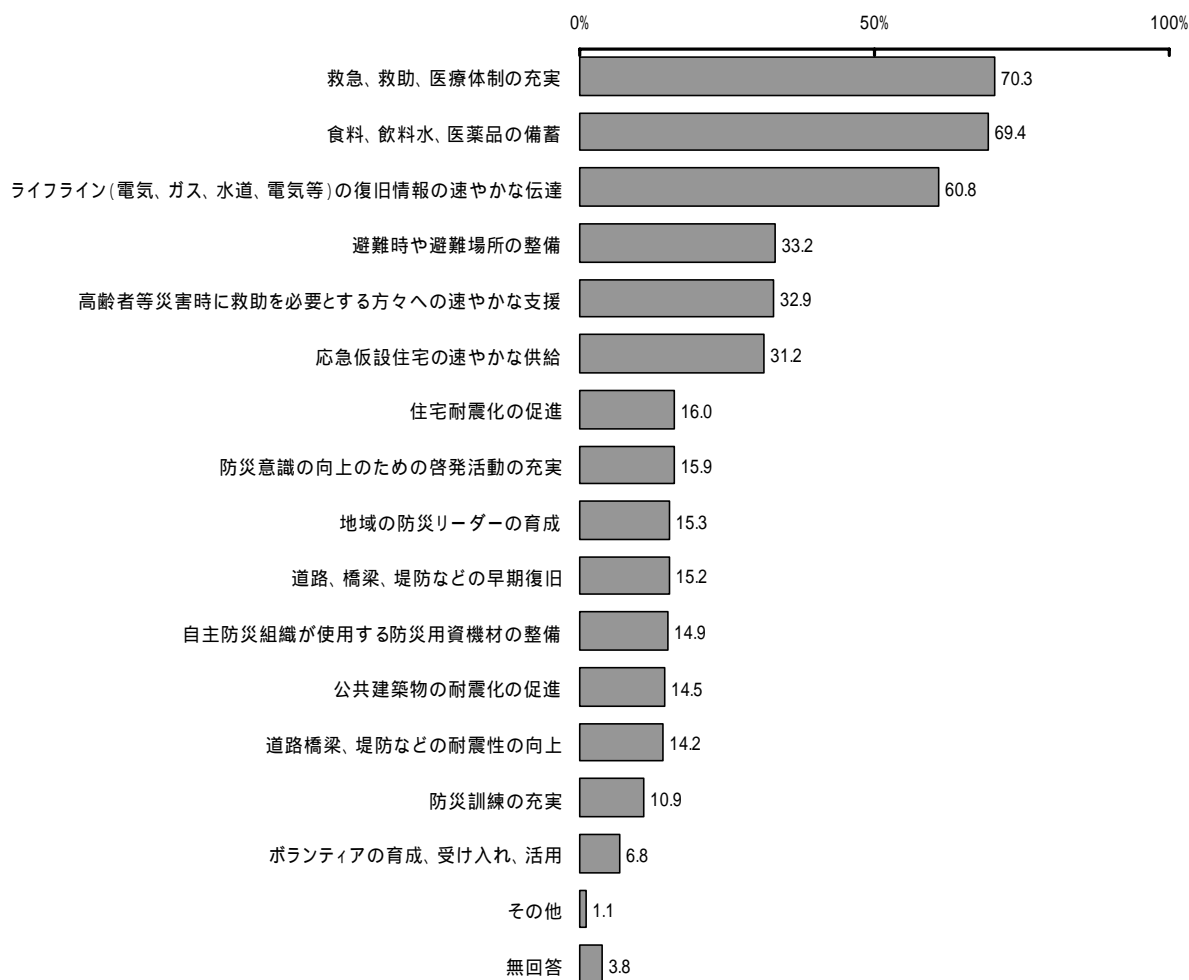


- すべてに優先して参加したい
- ボランティア団体からの要請があれば参加したい
- 体力や時間等の条件があれば参加したい
- 職場や学校の了解があれば参加したい
- 親族や知人の住んでいる地域の災害なら参加したい
- 参加するつもりはない(できない)
- 無回答

## 県や市町村に力を入れてほしい地震対策

あなたが、東海地震・東南海地震に関して、県や市町村に特に力を入れてほしい対策は、どのようなことですか？（ は5つまで）

約7割の人が「救急、救助、医療体制の充実」、「食料、飲料水、医薬品の備蓄」、約6割の人が「ライフラインの復旧情報の速やかな伝達」を望んでいます。



県では、平成16年3月に「愛知県地震防災推進条例」を策定し、県、市町村、県民、事業者、自主防災組織、ボランティア等が協働して地震災害に対処する防災協働社会の形成に向けて取り組んでいます。

また、平成19年2月に策定した「第2次あいち地震対策アクションプラン」に基づき、地震防災に関する施策を総合的かつ計画的に推進しています。